

活動名		星空観察・天体学習				
概要	○野外やプラネタリウムソフトなどで星や星座を観察する。					
ねらい	○野外で星や星座を観察する。 ○星や星座に関するお話を聞き、理解を深める。					
関連教科等	理科					
指導形態	①自主活動で実施、④外部講師による指導（有料）					
時期	通年	時間帯	夜	対象	中学年～	
場所	創作棟前広場, つどいの広場, 第1研修室	人数	～150人程度	所要時間	0.5～2時間	
準備物				団体・個人で準備するもの		
	天体望遠鏡, 星座早見盤, ペンライト			季節に応じた服装		
進め方・展開例						
内容			留意点			
活動前	○打ち合わせを行う。 ・実施の判断 ・ねらいの確認 ・物品の準備と片づけの確認			○荒天時は相談の上、実施判断をする。 （室内でプラネタリウムソフトを使用して天体学習を行うことが可能） ○自主活動で実施の場合は活動の進め方を確認する。		
活動の説明	○天体に関するお話をきく。			○天体の不思議さにふれる。		
展開	○晴天の場合 ・天体学習の後、実際に星空を眺める。 ・季節の特徴を踏まえ、惑星や星座を観察する。 ○室内の場合 ・プラネタリウムソフトによる天体学習も可能。			○当日の日の入り時刻を事前に調べ、星空がよく見える時間帯を設定するとよい。  ○プラネタリウムソフトを使用する場合は、当日の星空や季節の星座、月の満ち欠けなど、たくさんの自動解説があるので、内容について事前に確認をしておくとうい。		
						
まとめ	○気づいたことや感じたこと、新たに発見できたことなど発表する。					
評価	○星や星座について関心をもつことができたか。 ○天体の偉大さや神秘さを感じることもできたか。					
発展	○天体望遠鏡をつかって、日中の太陽黒点観察などをしてよい。 ○自分なりにオリジナルの星座を考えてみてよい。					